

昭和25年4月15日



第28號

足立区政ニュース

THE ADACHI KUSEI NEWS

發行所 五ノ住一丁目 足立区役所
 編集 大野山 足立区長 大野山 足立区長
 總務課 文書係 440
 電 足立 3115



足立の名所と櫻

江北の櫻は世界的に有名で明治四十五年東京市から北米合衆國政府に櫻苗を寄贈するに當りこの堤に植栽されたる品種から接穂した十一種約三千本をワシントン市に贈りその後ニューヨーク市にも移植した又大正七年から十年に至る間青島季村民政署へ櫻苗千四百本を送つた然し今は江北堤上の櫻は見るかげもなくなつてしまつた

寫眞は中川堤の櫻である

昭和25年度足立區歳入歳出予算

歳入		前年度	比増(△)	較減
科目(款)	本年度	前年度	比増(△)	較減
1 區財政	117,335,363	105,556,269	11,779,094	
2 財産収入	2,677	2,380	297	
3 便用材料	2,438,522	1,688,656	749,866	
4 福祉事業	1,500,000	0	1,500,000	
5 都支	1,246,931	0	1,246,931	
6 寄附	1	500,000	△ 499,999	
7 繰越	1	1	0	
8 雑入	999,526	1,045,026	△ 45,500	
歳入合計	123,523,021	108,792,332	14,730,689	
歳出		前年度	比増(△)	較減
科目(款)	本年度	前年度	比増(△)	較減
1 區役	9,763,800	7,281,800	2,482,000	
2 區所	61,743,847	63,589,868	△ 1,846,021	
3 土木	4,893,330	1,991,104	2,902,226	
4 建築	202,200	202,200	0	
5 教育	37,587,184	30,072,129	7,515,055	
6 保健	815,698	693,140	112,558	
7 福祉	2,143,050	171,980	1,971,070	
8 産業	670,774	429,000	241,774	
9 選挙	668,281	284,375	383,906	
10 徴収	2,438,815	2,438,815	0	
11 財諸	268,759	2,380	266,379	
12 支備	1,327,283	785,541	541,742	
13 歳出合計	123,523,021	108,792,332	14,730,689	

昭和二十五年当月初豫算成立

三月二十八日開會の本年第二回區議會で昭和二十五年当月初豫算が成立した。

婦人連合協議會發足

的速かに整備確立し、區民各位の御期待に添うべく積極的行政費を追加補正することとしたのである。

三月二十八日開會の本年第二回區議會で昭和二十五年当月初豫算が成立した。この豫算の執行にあたり編成の方針の骨子を説明し區民各位の御了解と今後の御協力をお願いする次第である。豫算の主なる財源は區稅であるが、稅收入がいくらあるかを見込む基礎的な法規は地方稅法とこれに関連する稅條例であり、この基礎となる稅法はシャープ使節團の勸告により、目下政府で立案検討中である、従つてこれらの、稅制、本格的な豫算は、政府及び制度が決定しなければ當然本區の稅收入も今年度いくらあるか次第新稅制による態勢を可急で意義深い式を終了した。

春がどこかで浮かれてる

都立五反野保育園を訪ねて



美歌が終るまで、一心に跪いている姿は、涙のでもほど、微笑ましい光景である、女の子を抱いて、四五人の子供に取り巻かれながら、シンデレラの物語りを話している保姆さん、ブランコを後押ししながら、カラタチの歌を唄つて

宇田川建設工事株式会社
取締役 宇田川徳次郎
本社 足立區千住仲町六二
電話 足立 三〇九三番
製材所 足立區千住東町三六
作業所 足立區千住東町三一
自宅 足立區千住高砂町一九
電話 足立 二七八七番

株式会社 上野製作所
代表者 田中恒二郎
本社 足立區千住三ノ三九
出張所 足立區千住二ノ三
電話 足立 三三三二八六

共済組合指定
御入學、御卒業に
精工舎の實用時計を
株式会社 石鍋時計店
足立區千住一ノ六八
電話 足立 三三〇九番

寫真 寫真は
北千住驛前舊道
石井健祐寫場へ
千住二丁目五二番地
◎遠近に拘らず
出張撮影に應じます

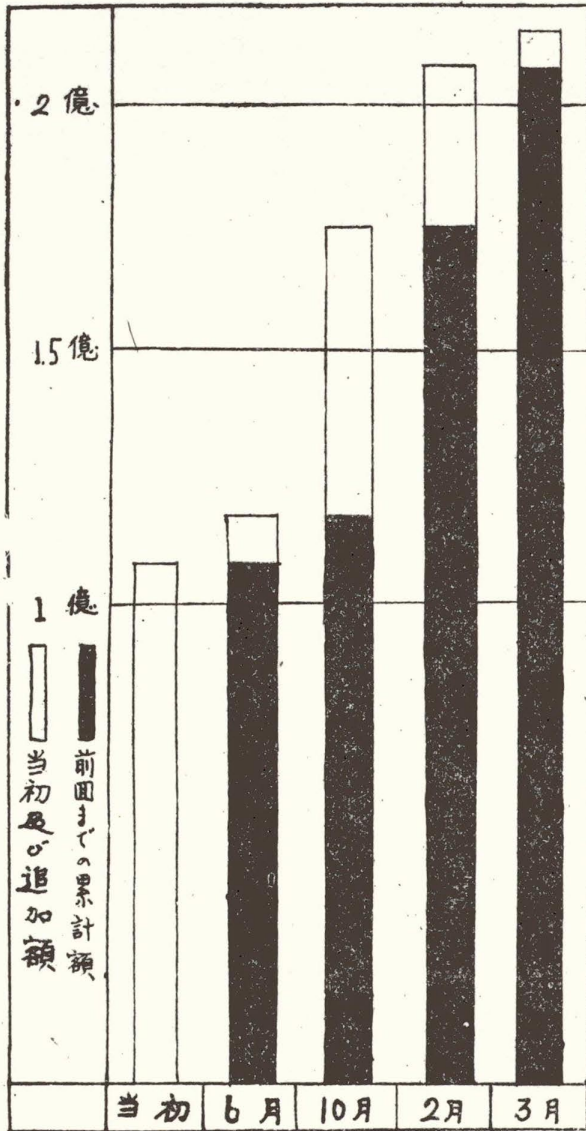
昭和24年度足立区歳入歳出追加豫算

昭和二十四年度最終の

区經濟追加豫算成立

歳 入			歳 出				
科 目	前回の 予算額 円	追加予算額 円	計 円	科 目	前回の 予算額 円	追加予算額 円	計 円
區 税	136,528,791	366,140	136,894,941	區役所費	74,725,837	250,000	74,975,887
歳入合計	208,187,667	4,819,236	213,006,903	教育費	103,055,816	4,173,936	107,229,752
				保事業費	1,502,361	104,550	1,606,911
				護産業費	1,976,768	290,750	2,267,518
				歳出合計	208,187,667	4,819,236	213,006,903

昭和24年區經濟予算追加補正概要



經濟九原則の大方針のもと、どんな経過を辿つたか其の概に強力な經濟安定の一途を辿ることを示すと、今回の追加を加つた昭和二十四年度も常に均等な豫算総額は貳億壹千參百餘萬圓である、年度當初は壹億八百七拾九萬圓餘であつた。三月二十八日本年第二回區議會で成立した今回の追加豫算四百八拾壹萬圓餘で終止符を打つた。

いまこの豫算全体をどうして、

虚弱兒童に福音

上總湊に区立養護学園設置

本區では、區立小學校兒童中、虚弱兒童を對象として、養護学園を設置するべく、豫定から、懸案中であつたが、愈々これが、下記の通り實現することになった、既に、土地

東區、鹿野山の連峯を眺め、西は、東京灣浦賀海峽に面し、觀音崎燈台を望む明眉な海岸は、遠淺であつて、海水浴には絶好の地である、冬暖夏涼の氣候は、建物、庭園、他の學園の追隨を許さぬものがある、この恵まれた施設に虚弱兒童を收容し、小學校の教科課程を修得させ、併せて社會人としての團體生活を体得させることは誠に意義あることと言わねばならない、なお夏季は臨海學園として本區区立小、中學校の兒童及び生徒を對象に開放し、心身の鍛練に各學校の積極的な利用を望んでいる。

五、開園豫定期日
昭和二十五年八月一日

一、所在地
千葉縣君津郡湊町七七三番地
(電、湊、七六)

二、名稱
東京都足立區立上總湊養護學園

三、規模
敷地坪數一、四七坪
園舎坪數二五坪

四、收容兒童豫定數
區立小學校兒童中四、五、六年約五十名(但し臨海學園の場合は相當數收容の見込)

(イ)木造スレート
葺二階建五七、二五坪
(ロ)附屬平家建五棟延六七坪

稅務職員の立場から

もう二、三週間ばかり前の他による世論に對しては、手ことになりす。ある夕刊紙に稅務官吏の横暴を難詰した投書がのつていました。それを承諾も得ず、無理矢理に差押をしてつたと云うのです。その時の國稅廳の答辯は、一應、稅務官吏の立場を説明してました。しかしその投書家に對して確固たる態度ではなく、多分に迎合的、とまはかないまでも、そんな匂いがしていたように考えられます。

稅務官吏への不滿、攻撃は今更決して珍らしいことではありません。不親切であるとか、怠慢であるとか、と云うのです。かりに、一つ例を取つてみれば「税金を納めたのに、督促状が来た、稅務官吏は一体何をしているんだ」と云うようなことではありません。この場合、窓口であるならば、直接にわれわれの立場も説明し、稅の内容も納得させ、理解も求めることも出来ません。たとえ、このような悪い世評のために、稅務官吏は親切であるとの先入観を持つて来たとしても（このよう人は勿論一部ではありません）一應納得させることはわれわれの責任であり、義務でもあります。しかし新聞その

て、御丁寧に督促状を發しているものでも決してないのです。もちろん、稅務官吏への批判は悪いことではありません。しかし、理解を求めようとはせず、攻撃のための攻撃ではとりまおさず、これは頑固と云うことになりす。

納稅者は、稅と云うものの本質をよく理解せられ、税金は他人のために納めるのではなく、自分自身の文化や生活が向上すると云う、云わば自分自身のために納めるのだと（筆者）足立區役所稅務課職員

「お互の生活改善に」

生活協同組合大會

足立區及び足立區生活協同組合本區内の生活協同組合は、合事業協議會主催の足立區生活協同組合大會が、三月二十六日、關原小學校で盛大に開催された。

この日、雨天にも拘らず、会場に詰めかけた區民は、日本協同組合同盟中央委員川崎すみゑ女史の「現在の深刻な經濟狀勢下の苦しい生活を、消費者大衆の協力によつて打開してゆかねばならない、毎日の新聞を賑わわせている悲慘な出来事は協同の力で守ることが出来る」と言う克明な統計實際にわたる解説に、生活協同組合に對する認識を新たにした。

四月十二日櫻模様に綺麗に飾られた花見列車「足立號」は七輛編成の客車に、美しく着飾つた、區内婦人會員約四百五十名を乗せて、午前七時十四分、北千住驛を發車した。寄居驛を通過した頃から、車窓には、満開の白い櫻が、清冽な溪流に一ひら、二ひら散つて行く景色が展開された。櫻を見ない中から、お花見気分が浸り切つていた車中は、花をみても一層賑かさを増して、この日、長瀬觀光協會の好意による、足立區民歡迎大會に臨むため、豫定の長瀬驛下車を變更して、十時三十分上長瀬驛につく、地元の花見協會の輿に迎えられて、会場につくと、赤い秩父銘仙を着た十數名の踊子が囃子に合せて、秩父音頭を踊つている、秩父自然科學博物館から長瀬に延びる櫻並木を背に、なだらかな傾斜の芝生から、木の音がくれば、溪流の白く岩に碎けるのが見られる廣場で、造化の天工の快心の繪畫に酔い切つた一行は晝食を機に解散、絶好の花見日和に霞む勝景の地に、都座を洗い落した、解散後自然科學博物館無料入場券がめい／＼に渡され、顔面まで、密毛に蔽われたピラカントロップス人、クローマニオン人等の想像圖や、秩父山中で發見された、貝類の化石の骨などをみて、この邊は、昔は海であつたんだと、酒仙の境にある考古學者の破天荒な説明を、連れの老婆が感心して聞いている光景に、入場した人々は、博物館の中にも春を感じて微笑する。

花見列車

足立號同乗記

河原を散歩しながら、足立區連合婦人協議會副會長遠藤まつよ氏は、花見列車の感想を次のように語つた。

婦人會としても、日常家庭の仕事に忙殺されて、仲々外出の時間をもてない會員が、一日の団体で清遊することは、相互の親睦、認識を深める意味で非常に意義深いことと思ひ、度々計畫をたててみたが、連絡、經費等のことで仲々實行出来なかつたけれど、區がこれを主催してくれたので喜んで、汽車の混雑や、地理に暗いために外出できぬ婦人のために、今後も區の方で、指導的計畫をたててくれ

第二回

足立區議會開會

本年第二回足立區議會(臨時會)は去る三月二十八日開會された。議案は次の通りで何れも原案通り可決となつた。

一、東京都足立區立小學校分校廢止の件

二、東京都足立區立小學校設置の件

此の二案は關連したもので現在の東淵江小學校大谷田分校を、獨立校にする爲の分校廢止案とそれに代る「區立大谷田小學校」設置案である、新大谷田小學校の概要は次の通りである

位 置 東京都足立區大谷田町區畫整理地四ノ一校 名 東京都足立區立大谷田小學校

通學區域 長門町、大谷田町(自八二五至一四二〇)開校期日 五月一日

三、東京都足立區立中學校校位置變更の件

區立第九中學校の新築校舎が落成したので、併設場所の梅島小學校から新校舎へ引き移ることとなつた

新位置 足立區梅田町五五〇番地

四、東京都足立區立養護學園設置の件

児童を收容しその健康増進を圖る一方夏季には臨海學園として利用するため千葉縣君津郡湊町に區立の養護學園を設置することとした

五、一時借入金借入の件 昭和二十五年年度の豫算執行に當り一時的に歲計現金が不足する場合應急的措置として二千萬圓の範圍内で借入を行ひ得ることとした

六、東京都足立區特別區稅條例中改正の件 舟稅、自轉車稅、荷車稅、金庫稅には、それ等のものを取得した時、その時價を標準として一回丈課稅される「取得稅」と爾後毎年一回課稅される「物件稅」の二つがあつたが、今般區稅條例を改正して、三月一日からこれ等四つの「取得稅」と「不動産取得稅附加稅」を廢止した

七、昭和二十四年度東京都足立區歲入歲出追加豫算 昭和二十四年度最終の追加豫算として四、一八九、二三六圓を議決した。これで昭和二十四年度の豫算總額は二一三、〇〇六、九〇三圓となる

八、昭和二十五年年度歲入歲出豫算 昭和二十五年年度當初豫算として別項掲載の通り總額一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇圓突破記念 貯蓄講演會盛會裡に終る



昭和三十二年十一月、國民貯蓄運動發足以來、國民の勤儉體役員等約二百名を集めて、貯蓄により、昭和二十五年三月末で一兆圓の貯蓄実績を見月末で一兆圓の貯蓄実績を見これに記念し、貯蓄増強特別運動の一環として、講演會及び協議會を開催することになつた、これにより本區でも、去る三月三十一日午後一時から、千壽第一小學校講堂で、東京都商工指導所商業部長原祐三氏、東京都民生局生活課長、その他各關係者を招いて講演會を開催すると同時に江東プロック協議會を開いて、貯蓄増強運動の細目に亘る打合せを行つた、區内貯蓄協力委員、金融機關代表、業者代

区議會日誌 三月四日經濟委員會 一、所管事項報告について 二、競輪場設置について 三月十四日厚生委員會 一、所管事項報告について 二、法律相談所設置について 三、保育所設置の請願及び陳情について なお委員會終了後母子寮設置について参考の爲大東母子寮(興野町)を視察した

三月二十二日教育委員會 一、足立區立小學校分校廢止について 二、足立區立小學校設置について 三、足立區立中學校校位置變更について

三月四日經濟委員會 一、所管事項報告について 二、競輪場設置について 三月十四日厚生委員會 一、所管事項報告について 二、法律相談所設置について 三、保育所設置の請願及び陳情について

三月二十四日土木委員會 一、各種請願書について 二、所管事項報告について 三、二十五年年度土木費豫算について

三月二十七日總務財務合同委員會 一、區有財產條例制定について 二、區議會の議決に付すべき財產營造物及び契約に關する條例制定について 一、昭和二十五年年度豫算について 二、第二回區議會提出案件について

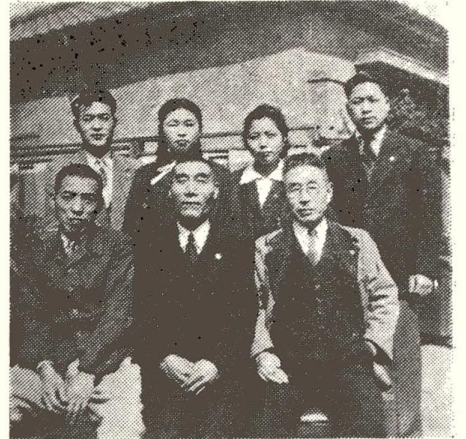
三月二十三日總務財務合同委員會 一、一時借入金借入について 二、區有財產條例制定について 三、區議會の議決に付すべき財產營造物及び契約に關する條例制定について 四、足立區特別區稅條例改正について

三月二十三日總務財務合同委員會 一、一時借入金借入について 二、區有財產條例制定について 三、區議會の議決に付すべき財產營造物及び契約に關する條例制定について 四、足立區特別區稅條例改正について

御料理 割烹、仕出し 三登屋 島昌治 千住末廣町五四

入浴隨意 旅館 菊泉 千住一ノ七六 北千住驛から三分

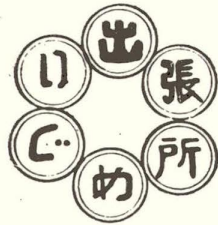
大眾會席 宴會、商談には サロン 京樂 店主 日比野守一郎 都電終点前 電足立二三〇一番



右から
金子 清
久保 文廣
塩田 綾子
石田 東市
加畑 ヒデ
小林 昭
今泉 清

くちやならんよ、所長の抱負、こみてゐる。女子職員が、若々しく春風に汗ばんでい

も計畫も、すべて職員協力の、若々しく春風に汗ばんでい
なしにはできないからな」とた。
その方針について語りだす、
圓滿明らかな事務の運営は、職
員の自覚と責任感にある、そ
の点良い職員をもつた私は幸
福だと思つてゐる、先頃も、
第三出張所の小川君が言つて
いたが、出張所は近い将来に
、所謂大出張所制にしなければ
ならんよ、出張所へくれば
、出生も、死亡も、婚姻も、
戸籍上の手續ができるし、簡
單な税務關係の問題も解決で
きるといふ位にしなければ今
後の出張所は、行き詰まつて
了まうだろ、勿論區政の運
營上、早急にこの實施を望む
ことは無理だが、合理的計畫
のもとに、着々その準備をす
すめて貰いたいというのが、
私の今の最大の希望なんです
よ」
寫眞を撮るために外へでると
、近所の子供達が、女子職員
表面にで
ない、細
にまわりつく、管内住民の
葬式の日には、有名無名を問
わず、出張所の誰れかが、訪
れるという、親しみと、協力
の表われのように、春の陽を
浴びながら、風を除けて、陽
溜りに遊ぶ子供達を、にこに



其の六

歸る時間
營上、早急にこの實施を望む
ですから
ことは無理だが、合理的計畫
、一寸待
つて下さ
いと、い
いという
庶務の久
保さん
、出張所
運營の、
表面にで
ない、細
にまわりつく、管内住民の
葬式の日には、有名無名を問
わず、出張所の誰れかが、訪
れるという、親しみと、協力
の表われのように、春の陽を
浴びながら、風を除けて、陽
溜りに遊ぶ子供達を、にこに

軒茶屋の名で呼ばれた小さい
部路が、今の千住高砂町であ
ると言われるだけに、今では
、荒川放水路以北第一の、繁
華な商店街と、靜かな住宅街
を持つてゐる、南風の強く吹
く日、頭から靴の先まで、眞
つた所長が一頁の紙を、

公文書が左横書きになります

四月一日から

永い間、馴染まれていた
、官公廳の縦書公文書が
、四月一日から、行政の
能率化から左横書きになり
ます、區民の皆様も、最初
は戸惑うことも、ある
かと思われませんが、左横

書の長所が、種々検討され
た結果、従来の縦書に勝つ
てゐることが立證され、今
度の實施となつた次第なの
で、この点御諒解の上、御
協力をお願い致します。

区役所電話番号

晝 間
足立 3.111~3.115
浅草(84) 440
區長、助役、總務課
浅草(84) 641
經理課、教育課
浅草(84) 4.1C8
土木課、建築課
浅草(84) 4.103
經濟課、民生課、稅務課
夜 間
宿直室 足立 3.111 3.115
用務室 浅草(84) 4.40
足立 3.113

島田時計店
島田久太

時計・貴金屬・眼鏡
共済組合指定

巧文社印刷所
千住(二)五五
北千住(三)六七番

日新工業
株式會社
社長 佐久間榮吉
本社 千住(東)町九三
工場 東京・大阪・山形・綾瀨



ルーフィング

清水表装店
千住高砂町一二二
元三軒家通り土手際

迅速表装、對立
金銀、屏風
其他一式請負
御一報次第參上
致します

印章ゴム印
事務用文具
九天堂印房
千住橋戸町四三番地
電話 足立 二三六六番
千住大橋通り三ツ角

高田酒店
柳原町一五八
柳原神社ソバ